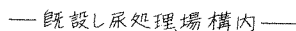


昭和38年1月10日・神奈川県平塚市役所発行・編集総務課（電）1261—1270
毎月1回33,100部発行・全世帯配布（1部5円）・昭和31年10月3日第3種郵便物認可

昭和38年1月10日・神奈川県平塚市役所発行・編集総務課（電）1261—1270
毎月1回33,100部発行・全世帯配布（1部5円）・昭和31年10月3日第3種郵便物認可



四十四年まで全量焼却

起工式で清掃事業の充実計画を説明する市長

で工事がはじまっています。

509

511

全會計予算38億突破

財政部は、昨年十二月、日銀十億円の財政事業を公致しました。この財政事情は条例の定めにもよって年々改善するものです。今回昭和三十六年度の決算（昭和三十七年度前半期、四月～九月）の市政財運営状況、状況を明しています。財政に数字を数字であらわしたものとみることで、この数年間の健全財政の成果を大きく数字がしめています。

三十六年度決算

[illegible]

て、消費的経費を占めていて投資的経費は極めて少い。市勢の飛躍的な発展とともに一般市民の豊饒が土地に反映してきて、建設的（實業的）の需要が増え、市の財政方針とありまして、往々千七百五十万、九千万円のほり予算した民権社向うための總行政府廳舎建築費を中心とした足るべき重点的、効率的にするためとある数字であられたものがある。このとき、本市の取水権が一億二千四百四十万六千六百一十円に上つた。この四十五年度の四十八・九二パーセント引き続き率をしめると、市の財政が強化されて収入面が順調に確保されたことということが示すものとして出てくる。平均三十一・七パーセントはもとより、県下各町村の平均三十三・七パーセントよりも、予算額十二億

五千万に達し、昭和三十六年度の残額も昭和三十七年度繰越しました。この中では前年よりも翌年度繰越した事業にあてられる財政として一千八百八十九万円がふくまれました。以て昭和三十六年度決算は、健

財政板にき本市の財政が近きに充実に運営がなされたことと数字が明らかにしている。

[illegible]

三十七年度
前半期予算
収支状況

[illegible]

收入 (Income)

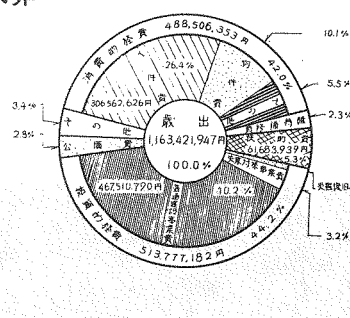
收入来源 (Income Source)	金额 (Amount)	占比 (Percentage)
工资 (Wages)	1,077.15	100.0%
经营收入 (Business Income)	1,151.78	46.8%
其他收入 (Other Income)	81.2%	3.3%
利息收入 (Interest Income)	612.94	8.1%
其他 (Other)	179.91	3.3%
合计 (Total)	3,100.375	100.0%

支出 (Expenses)

支出项目 (Expense Item)	金额 (Amount)	占比 (Percentage)
生活费 (Living Expenses)	366.4	11.8%
教育费 (Education Expenses)	270.23	8.7%
医疗费 (Medical Expenses)	28.6	0.9%
其他 (Other)	20.5	0.7%
合计 (Total)	665.23	21.5%

结余 (Surplus)

项目 (Item)	金额 (Amount)	占比 (Percentage)
结余 (Surplus)	2,435.145	78.5%



▼市税には住民が直接納付する。住民一人あたりのサービス、平塚市勢伸長の力強さを示しているといえる。

（市民税・固定資産税・都市計画税）と間接的に納めるよう八巴になりましたので、住民一

税(電気ガス税)とあるが、これは消費
人あたりの納付額五、五百六十
三円六角にこれら市税收入の
合計額は、億二千九百九十四
万余円になり、住民一人平均五
千五百六十三円を納めていたこ
ろである。この数字は市内の全社
口の税金がふやまれて、ますの
で実際のほうがもう少し下る額に
なっている。

③財政に投資的経費が大いにな
りつゝあります。
「市の約(概算)行政サービス」
の表によります。

④財政に投資的経費が大いに比
率をしめしていることは、建設事
業が多いことで学校、市営住宅
公民館などの市有財産が増えて
いきます。本市はこの数年、「消
費的経費をわざと減らし、投資的経費
を増大させる」という方針を堅
持してきました。その結果、

⑤市が大きな建設的事務を行
う時、多額の経費が必要とな
る一年度内に支出するものが
その年度の通に支障があるよ
な場合は、政府の許可を受け
ない利息無償借金をすることが
できます。これを公債といひ、

⑥一度定めた大金を返済し終
了しくして、返済金利利息
公債費として市の予算から明
記されていきます。

[illegible]

ます百くさせています。	収入決算額は三百三十三万金を出て、支出決算額は三千七十九万零四円で、収支差額引当五十六万一千四百四十円を余ましたが、一
しかしながら内部事務に要する費用を繰切りつゝ、結核、精神病の世帯主が七割めに引上げて	一般会計から百五十万円をこの計の財産繰り入れいたしますので、実質的な収支残金をありません。
事業内容向上をはかりました。	これは簡易水道事業の初期の段階で、これは、新たな施設に給水す
た。また、収入決算の九千二百八十五円二角と支出決算の六千八百五十九円二角との差額は、新たに徴収した給水料に充てられ、	昭和年度へ繰越しました。
入るべきものであります。	購入工業地帯造成事業株式会社 この会社は日本住宅公団が
土地を買収して土坤十四万四千七百平方メートル、買収して土坤一十八万八千二百平方メートルと道路六千八百八十五坪、合計十七	

[illegible]

に対して支出決算は、二百六十九万四千
 円で、差引三十九万四千円残りのま
 でしたが、これは一般会計にとりま
 の会計に五十万四千円財源を繰入れて
 いたもので、収支残存率との会計
 では形式的なものであります
 かしかながら、城島地区が無断地区
 であるため、一面宮の診療を努力と
 してゐるもので、関係者を協同して
 いたことに、支出決算は六千四百
 円に対し、支出決算は六千四百
 円に決算、事業の予算費で、
 収入決算額六千七百三十八万
 入決算額三千五百五十三万五千
 円に対し、支出決算は三千五百五
 十三万五千五百五十三万五千
 円に決算、事業の予算費で、

事業の性格、短期会計にと
 り、年度当初三十二万八千八百
 円で、年度末三十二万八千八百
 円で、事業認可が、おれたために、
 して進みます、より事業
 半減、年度へ繰越し、より
 入決算額三千五百五十三万五千

地区住民の協力により年々収入実績は向上し、三十六年度は本市合併以来最高の成績をあげておられますので、今後の努力とあわせて将来一般会計への依存度合も少くなり特別会計の本目である独立採算が期待できると考えられます。

三十六年度
簡易水漏断り会計
に開始地

収入源	割合
未指定	90%
国庫補助	69%
地方交付金	26%
地方債	4.6%
国庫補助	3.2%
国庫補助	0.2%

経費別予算

514

ひび

1963年10月でとう

千三百六十五戸。平塚地区労働
会、三千七百一戸。衣類四〇包
塚市漁業協同組合。婦人部、被
五〇冊。吉村一郎氏、衣類五箱。

訴えなどの採択に決定！
▽請願・八間道路拡張計画中止について（平塚森谷基太郎氏ほか）
三十三名 八間通り西側七七の
二月四日午後一時三十分現地出
発、午後九時平塚駅前到着
くわしくは申込所に連絡のこと
